平和祈念展示資料館
～東京あれこれ～

大学4年間は東京で過ごしたが、学部が豊島区江古田にあったため、貧乏学生の私はあまり新宿に行ったことがなかった。

新宿三井ビルなど高層ビルが立ちならぶ、西新宿に一度は行ってみたいと思っていた。

それはその高層ビルの一室に「平和祈念展示資料館」があったからだ。ほとんどの人が「平和祈念展示資料館」の名前も知らないのではなかろうか。

私が足を運びたいと思ったのには、理由がある。昭和15年に私は満州・奉天で生まれた。敗戦後、家族全員で引揚げることができたが、父は過労から結核となり、48歳の若さで亡くなった。母は残された3人の子どもを女手ひとつで育て、私を東京の私立大学まで行かせてくれた。そんな訳で引揚げの苦労などが展示された「平和祈念展示資料館」には強い関心があった。

高層ビル群の一つ新宿住友ビル33階36号室にある展示館。これは総務省の委託事業、言葉をかえれば我々の税金で作られたものだ。入場無料にもかかわらず、私が入館中に出会ったのは、受付事務の女性だけ。こんなところにも、あの戦争が風化しているように思えて、残念であった。

改めて、持ち帰った掲載されている第二次世界大戦時の「アジア太平洋地域図」を見た。私の生まれた満州・奉天も記載されていた。

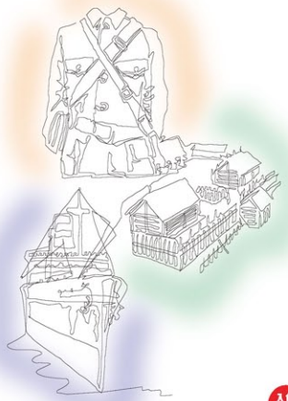
第二次世界大戦からすでに何年経ったのかと数えるほど、遠い昔のことのように思える。戦争を知らない若者も増えている。日本はその後一度も戦争をしていない。8月15日が近づくたびに、平和とは何を意味しているのかと、考える。多くの犠牲者を出した第二次世界大戦を風化させることなく、次世代に引き継いでいく責任が私たちにはあると思う。

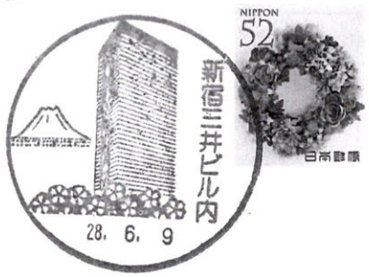
話は変わるが、今世界中が新型コロナウイルスで大騒ぎしている。歴史を見ると、コレラ、風疹（ふうしん）などいろいろ人を恐れさすウイルスや病があったようだ。それでも人類は英知を駆使して、それらを乗り越えて今日に至っている。今回も我々は英知をしぼり、対策を講じて、きっと乗り越えられると期待している。

なお、連載中の「風景印」の今回は「新宿三井ビル」の中にある郵便局。もう一つは連泊などで私が格安割り引きの時利用する「帝国ホテル」の中の郵便局の風景印である。

平和祈念展示資料館

Memorial Museum for Soldiers, Detainees in Siberia, and Postwar Repatriates



入館無料

card